

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	超臨界フルイディックセラミクスによるサーマルマネージメント材料創製
研究代表者	阿尻 雅文 (東北大学・原子分子材料科学高等研究機構・教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本申請は、フルイディックセラミクスという応募者の独自技術を活用して、熱制御材料創製を目指している。応募者は、超臨界法を用いたナノ粒子合成において、粒子表面の修飾及び粒子径分布を高度に制御できる技術を既に確立しており、これまでの研究成果は世界的に認められている。この豊富な研究実績を踏まえ、研究計画には具体性があり、実現性の高い提案となっている。この研究による成果は、ナノ粒子流動科学の学理構築に大きく寄与するとともに、社会的にも大きな波及効果が期待される。</p> <p>このように本研究は、フルイディックセラミクスに関して世界をリードする研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>